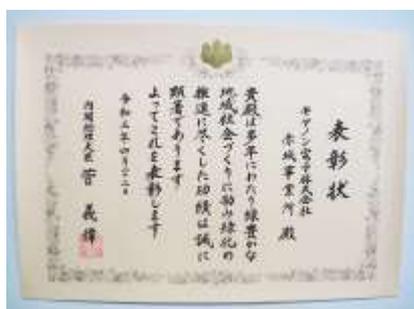


## 赤城事業所「令和3年度 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」受賞

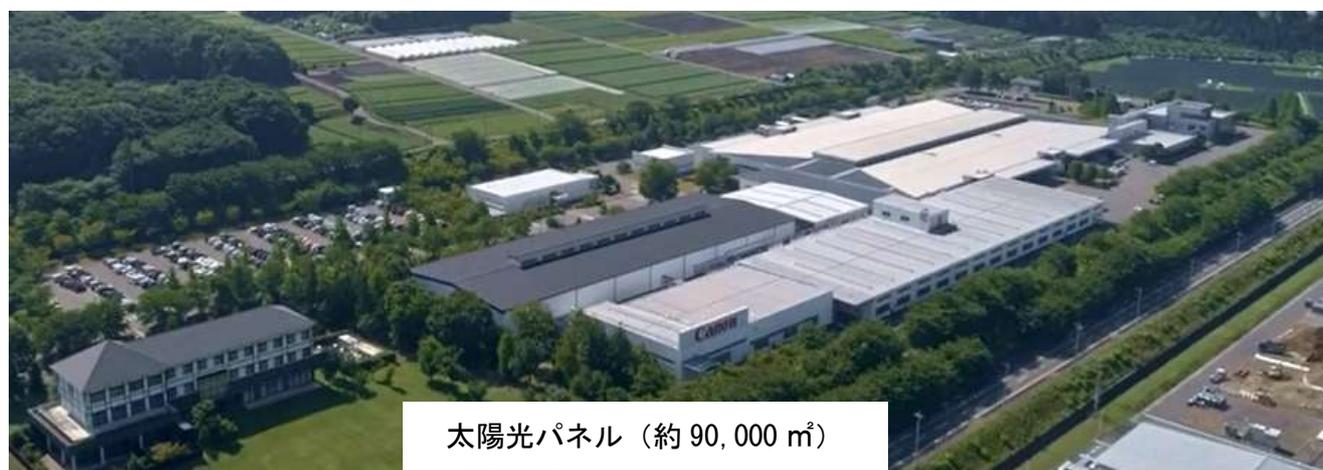
キヤノン電子 赤城事業所は、4月23日、東京・千代田区の憲政記念館で開催された内閣府主催の「第15回みどりの式典」において、「令和3年度 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。この制度は、緑化推進運動に顕著な功績のあった個人または団体に対し、関係省庁からの推薦に基づき、内閣総理大臣が決定し、表彰するものです。今年度は12個人・団体が受賞しました。授賞式には、天皇皇后両陛下がご臨席され、その名誉を讃えられました。



菅内閣総理大臣と受賞者（2列目右端 弊社代表取締役社長 橋元 健）



赤城事業所の全景（約150,000㎡）



太陽光パネル（約90,000㎡）



雪の谷川岳と桜



紅葉したドウダンツツジ



事業所内で実ったりんご



#### <功績の概要>（林野庁プレスリリース引用）

キャノン電子（株）赤城事業所は、1999年4月に操業を開始し、自然と共生をコンセプトに、工場緑化に取り組んでいる。サクラ、サツキ、サザンカ、モミジなど約60種15,000本の植樹された緑地は、定期的に整備され、周辺環境と調和した景観である。

道路に面した約600メートルにわたり地元昭和村の木であるサクラが1,000本以上植栽され来訪者の安らぎと癒しになっているほか、工場敷地周辺に新たにサクラ200本を植栽し工場緑化を推進している。また、地元昭和村特産のリンゴの木が植栽され、収穫の際には、社員食堂や来訪者へ提供されている。なお、環境への取組としては、工場の食堂で発生する生ごみを堆肥化し植栽に活用している。

さらに、社員参加による「緑化委員会」を組織し工場周辺の清掃活動等の取組を行っているほか、昭和村の各種イベントへの積極的な参加、地元小中学校を対象とした工場見学の開催により企業の環境への取組と工場緑化の紹介による環境教育への寄与といった地域貢献活動を行っている。

以上のようにキャノン電子（株）赤城事業所は設立時から「共生」というキャノングループの企業理念のもと、緑化の推進に取り組んでいる。

#### 【キャノン電子 赤城事業所の受賞歴】

2003年 一般社団法人 日本緑化センター会長賞 受賞

2011年 関東経済産業局長賞 受賞

2015年 経済産業大臣賞 受賞

キャノン電子 赤城事業所は、1999年4月に操業を開始しました。約150,000㎡の敷地に緑地を整然と整備し、「森の中の工場」を理想に掲げ、工場緑化及び環境保全活動に積極的に取り組んでいます。2007年に事業拡張用地として隣地を追加購入しましたが、事業拡張用地についても更地のまま放置することなく、周囲を緑地化し、さらに大規模太陽光発電所を設置し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

キャノン電子は全ての事業活動において、地球規模の環境保護に積極的に貢献することを基本目的とし、「環境保証理念（世界の繁栄と人類の幸福のため持続可能な経済の発展と地球環境との調和に貢献

する)」を掲げ、工場緑化及び環境保全活動を推進しております。

## 1 工場建設コンセプトと工場緑化への取組み

赤城山麓の自然林と高原地帯の共生を強調し、関越自動車道より眺める姿が 21 世紀、地球に優しい環境時代を先取りした清潔なイメージを抱かせるよう、工場緑化及び環境保全に取り組んでいます。工業団地として開発されたこの地を、「素晴らしい赤城山の景観」とマッチするよう、理想としている「森の中の工場」の実現に向けて、これまでに桜、サツキ、サザンカ、もみじなど約 60 種類、15,000 本の植樹を行っている他、孟宗竹林や庭園型の樹群樹林を多く作るなど、工場緑化に積極的に取り組んでいます。また、地域の特産であるリンゴの木も約 30 本あり、収穫時には社員食堂や来訪者等に提供し、喜ばれています。

## 2 従業員の積極的な取組み

赤城事業所では「かけがえのない地球環境 赤城の環境 私たちが守ります」という環境スローガンを掲げ、従業員が自主的に創意工夫をしながら植栽を行い、管理職も毎朝除草作業を行うなど会社が一体となり、緑化等の環境整備に取り組んでいます。また、排気ガスの樹木への悪影響を防ぐための自動車の前向き駐車も徹底しています。

## 3 地域との交流

地元昭和村の木である桜を事業所内に千本植樹、その他多くの木々花々も植栽しており、地元でも名所となっています。また、地元の小中学校教育、さらに保全活動を積極的に行い、地域社会や近隣と一体となった活動を進めています。

## 4 環境への取組み

グループ企業であるキャノン株式会社は、日本で最初に B S 7750 ( I S O 14001 の前身) を取得した企業であり、グループの環境対策への造詣は深く、「キャノングループ環境憲章」を環境保証の基本方針とし、環境保証活動と経営活動の 2 つのベクトルを一致 ( E Q C D 思想) させていく「資源生産性の最大化」をめざして、全ての事業活動を行う環境経営システムを取り入れています。

これからも、世界トップレベルの環境経営を積極的に進め、CSR、環境先進企業を目指すとともに、持続可能な開発目標 ( S D G s ) 達成に貢献します。

